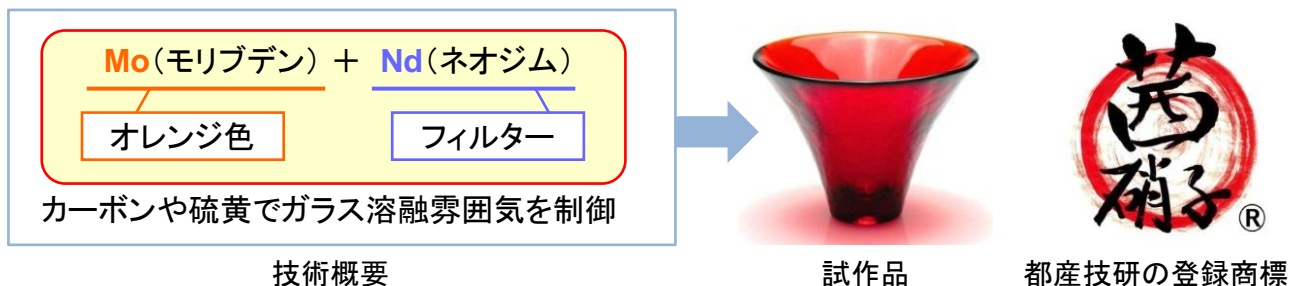


環境にやさしいあざやかな赤色着色ガラス

環境にやさしいあざやかな赤色着色ガラスの開発に成功しました。実用化にも成功し、共同研究企業から、このガラスを用いた商品が販売されています。

本技術の内容・特徴

着色剤にモリブデンとネオジムを用い、さらにガラス溶融時の酸化還元雰囲気制御技術を確立することで、環境にやさしいあざやかな赤色着色ガラスの開発に成功しました。



<特徴を活かした展開例>

世界文化遺産の
富士山をかたどった製品
杯を伏せると、山裾の金箔
が輝く赤富士の姿が現れる
酒器(おちょこ)



商品化事例「招福杯®富士山」(東洋佐々木ガラス株式会社製)

従来技術に比べての優位性

- ①有害物質を使用していない環境に配慮したガラス
- ②着色剤にモリブデンとネオジムを利用することであざやかな赤色着色を実現

予想される効果・応用分野

- ①環境に配慮した製品や商品への展開
- ②既存のあざやかな赤色ガラス代替製品としての展開

提供できる支援方法

- ▶ 特許利用(製品化・技術活用)

知財関連の状況、文献・資料

▶ 知財関連

特開 2012-193094

商標 5466219

▶ 文献資料

大久保 他, 平成26年度都産技研研究成果発表会要旨集, p. 86

http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h26_youshi/documents/kankyo2_10.pdf

本部 実証試験セクター
大久保 一宏

Tel : 03-5530-2193
E-mail : ookubo.kazuhiro@iri-tokyo.jp